

# 光ファイバケーブルの耐用年数の見直しについて

資料22-6

- 光ファイバの耐用年数については、「材質・構造・用途・使用上の環境」、「技術の革新」、「経済的事業の変化による陳腐化の危険の程度」、および光ファイバの撤去率をもとにした耐用年数の推計結果も踏まえ、総合的に検討した結果、2019年度期首より見直すこととしました。
- 将来原価方式で算定している2019年度接続料については、耐用年数見直しに伴う影響を反映させていく考えです。

## 耐用年数

	現行	見直し後
架空光ファイバ	15年	20年
地下光ファイバ	21年	28年
海底光ファイバ	13年	21年

## 変更を予定している接続機能

機能名
端末回線伝送機能（光信号端末回線にて伝送を行う機能）
端末回線伝送機能（光信号主端末回線にて伝送を行う機能）
端末回線伝送機能（複数年段階料金を適用するもの）
端末回線伝送機能（端末回線を収容する伝送装置及び端末回線により伝送を行う機能）
一般中継系ルータ交換伝送機能
一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能
一般中継局ルータ接続ルーティング伝送機能
関門交換機接続ルーティング伝送機能
イーサネットフレーム伝送機能